

令和7年度 岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業
カッタ一体験会～湖の真ん中で吉備高原の景色を楽しもう～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

吉備高原の秋を感じながら自然に親しむ活動を通して、自然体験や自然の大切さを理解するとともに、家族の絆や家族間の交流を深める。

2. 事業の概要

（1）期日

令和7年10月25日（土）26日（日）日帰り2日

（2）参加者

① 募集対象・人数

親子（小学生以上とその保護者）各日程80人まで

② 参加人数

25日：7家族21人

26日：16家族40人

（3）会場

国立吉備青少年自然の家（鳴滝湖）

（4）企画・運営のポイント

① 参加費を保険代のみの100円とし、家族みんなで気軽に参加できるようにした。

② 国立吉備青少年自然の家の活動や魅力を広く知ってもらうため、カッタ一体験会の開催前後を施設の自然や多様な体験活動ができるオープンデーとした。

③ 秋の自然に一層親しむために、船上で森林インストラクターの資格を持つ職員による動植物の話の時間を設定した。

④ 通常のカッタープログラムである湖岸ファイヤー場への上陸に加え、映画のロケ地になった話や映画の場面に近づけた場の設定をした。

3. 活動の内容等

（1）日程

12：30	受付開始（管理棟玄関前）
13：00	開会式（鳴滝湖）
13：30	カッタ一体験
15：30	閉会式
15：45	解散

※10月25日、26日共に同日程

※この2日間は9：00～16：00の時間帯で施設内を開放した。

午前中から来て散策、フィールドアスレチック、おもしろ自転車、カプラなどをしたり持参した昼食を食べたりすることができるようにした。

(2) 活動の状況



【カッタービー体験①】



【カッタービー体験②】



【カッタービー体験③】



【森林インストラクターの話①】



【森林インストラクターの話②】



【湖岸ファイヤー場①】



【湖岸ファイヤー場②】



【湖岸ファイヤー場③】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：91% やや満足：9%

(2) 参加者の声

- ① 子供たちが自然を満喫できて、とても有意義でした。
- ② 子供と「重い！」「進んだ！」と楽しめました。
- ③ 幼児が参加できないので、その間におもしろ自転車に乗ったりキー ホルダーを作ったりできて良かった。
- ④ 幼稚園児の長男も漕ぎたそうでしたので、来年も楽しみにしています。
- ⑤ 森林インストラクターの職員の話にたくさん森のことを教えてもらえて楽しかった。
- ⑥ 船上で温かいドリンクを飲んだり湖岸ファイヤー場で焚火をしたりして、ホッとしました。

(3) 成果

- ① 参加費を低く設定したことが目を引き、多くの参加者を集めることができた。
- ② オープンデーを開催したことにより、カッタ一体験以外にも多様な活動に触れる機会が提供され、施設の認知度を広めることができた。
- ③ 森林インストラクターの話の際には、様々な植物を実際に手に取ることができるように工夫した。そのことにより一層自然への理解が深まり、参加者からも好評だった。
- ④ 湖岸ファイヤー場が映画のロケ地であったことの話をしたり映画の場面を再現したりする工夫により、参加者の興味を引き、国立吉備青少年自然の家が幅広く活用されていることを伝えることができた。

(4) 今後の課題

- ① 今回の参加者の中には、父と姉（小学生）はカッタ一体験に参加できた一方、母と弟（年長）が参加できないケースがあった。オープンデーの設定により施設内での別の活動を楽しむことはできたが、「家族みんなで船に乗りたい」という声も聞かれた。今後は保護者がそばにいる場合に限り、漕がなくても船に乗ることができる選択肢を設けるなど、家族全員が同じ体験を共有できる工夫を検討していくたい。

担当：企画指導専門職 八木 雄治